

事業トップメッセージ

産業ガス

経営資源を強化しながら カーボンニュートラル実現に貢献します

日本酸素ホールディングス株式会社
代表取締役社長CEO

濱田 敏彦



5つの重点戦略を推進

産業ガスセグメントを担う私たち日本酸素ホールディングスグループは、「進取と共創。ガスで未来を拓く。」の理念に基づき、革新的なガスソリューションにより社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざしています。

この理念を実践し、さらなる成長を実現していくために、当社グループは現在、2022年度から2025年度までの中期経営計画「NS Vision 2026」を推進しています。計画立案にあたっては、①気候変動による影響、②経済的な不確実さ、③地政学的な不安定さ、④デジタル社会の発展、⑤価値観や生活様式の多様化という、目下の外部環境の変化を踏まえつつ、中長期の観点から持続的に成長していくための5つの重点戦略を定めています。

中期経営計画「NS Vision 2026」5つの重点戦略

- サステナビリティ経営の推進
- 脱炭素社会に向けた新事業の探求
- エレクトロニクス事業の拡大
- オペレーショナル・エクセレンスの追求
- 新しい価値創出へとつながるDX戦略

[日本酸素ホールディングス「中期経営計画」](#)

脱炭素分野で価値を共創

私は、これら重点戦略を着実に遂行していくためには、「進取と共創」の理念のもと、日本・米国・欧州・アジア・オセアニアおよびサーモス事業に携わる当社グループにとどまることなく、社内外の多様なステークホルダーとの価値共創が不可欠であると考えています。とりわけ、当社グループのガスソリューション

と三菱ケミカルグループの強みである化学・製薬分野の技術開発力、ノウハウ・知見・経験は、カーボンニュートラルに向けた取り組みにおける親和性が高く、重点戦略である「脱炭素社会に向けた新事業の探求」をはじめ、2022年度の注力施策と位置付ける「環境関連ソリューションの提供拡大」「水素社会に向けたグローバルでのHyCO事業*プロジェクトの探索」などで大きなシナジー効果を発現し得ると考えています。

※ 天然ガスから水蒸気改質装置(SMR)で分離される水素(H₂)と一酸化炭素(CO)を、石油精製・石油化学産業にパイプラインを通じて大規模供給する事業

The Gas Professionalsとして 企業価値向上に貢献

「One Company, One Team」として新たな価値を共創していくプロセスは、当社グループの従業員一人ひとりが「The Gas Professionals」としての気概を示す絶好の機会となり、また、より広い視野を持って新たな挑戦を始める大きなチャンスにもなります。

三菱ケミカルグループは今、持続的な成長に向けたポートフォリオの大胆な改革を進めていますが、こうした機会を飛躍へのチャンスと捉え、産業ガスやサーモスの技術、グローバルで多様な人材、事業拠点など当社グループの特長ある経営資源を強化しながら、三菱ケミカルグループ全体の企業価値向上に責任を果たしていきます。